

いま私たちには、本当に  
守るべきものがあります。

食の  
安全・安心を  
守る!

医療システム  
を守る!

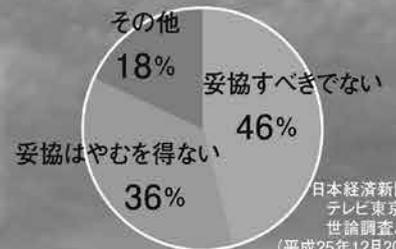
日本の  
農畜産物を  
守る!

ISD条項  
拒否!

## 国会決議の遵守なくして、TPP交渉の妥結はない。

農畜産物の重要5品目を関税撤廃から除外するという国会決議はもちろん、農業以外にも、ISD条項、食の安全・安心、医療、保険、知的財産分野など、国のかたちを変える数多くの問題を抱えるのがTPPです。日本経済新聞社とテレビ東京が昨年12月20日～22日に実施した世論調査では、「政府は今後の(TPP)交渉にどう臨むべきか」との問いに対し、46%が「妥協するくらいなら、合意すべきでない」と回答し、「合意するため、妥協はやむを得ない」の36%を大きく上回りました。JAのみならず、国民の多くが妥協のない交渉を政府に望んでいます。

[TPP交渉にどう臨むべきか]



### 重要5品目の関税維持。

米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物の重要5品目は、聖域なき関税撤廃からの除外が国会で決議されています。日本の農業を守るためにも、私たちは必ずこれを実現しなくてはなりません。



### 食の安全・安心の確保。

TPPへの参加で、残留農薬や食品添加物の基準等、日本の厳しい基準が輸入の障壁とみなされるおそれがあります。そうすると、他の国から日本の食に対する考え方にまで介入される事態となり、食の安全・安心が大きく脅かされます。



### 日本の医療システムの堅持。

日本の医療システムは「国民皆保険制度」と呼ばれ、すべての国民が公的医療保険に加入することとなっています。TPP交渉ではその見直しを迫られる可能性があります。「いつでも」「どこでも」「だれでも」平等に医療が受けられる、今の日本の医療制度を守るのも重要な課題です。



### ISD条項の断固拒否。

ISD条項が盛り込まれれば、食の安全・安心にしても、医療システムにしても、非関税障壁として外国籍企業からISD条項で訴えられ、日本が多額の賠償金を請求されるおそれがあります。そうすると協定が発効してからも、そのつど規制や制度を変更せざるを得なくなります。



# 守る。日本の未来を



**国民益を守れない  
TPPには断固反対！  
私たちは、一切の  
妥協を許しません。**

日本の、そして私たちの暮らしの行方を左右するTPP交渉が続いています。TPPは、農林水産物の貿易に関する問題だけでなく、食の安全・安心や、医療、保険、ISD条項など、広島県民の生命と財産に関わる問題を含んでおり、地域経済や雇用、社会の仕組みを一変させて、県民生活の様々な分野への悪影響が懸念されます。私たちは子どもたちの未来のためにも、断固としてそれを許すことはできません。政府に対して農畜産物の重要5品目の関税維持はもちろん、ISD条項の拒否など、国会決議を遵守し、確固たる決意をもって交渉に臨むことを求めます。TPP交渉は妥結に向けた山場の交渉が今後も続けられます。今こそもう一度心を一つにして、私たち一人一人の声が国民全体の声となるよう、反対の行動をとり続けましょう。